

浦間茶臼山古墳(岡山市)

前方が浦間茶臼山古墳/3世紀末築造の前方後円墳/左手が前方部、右手は後円部/北側から見たところ



左手からアプローチして、前方部の墳丘手前にある説明板の場所から進もう

 [video](#)



浦間茶臼山古墳は、前方部の形状が初期の前方後円墳に特有の形態(三味線の撥のような形を呈するなど)をもち、吉備地方最古の前方後円墳と想定されている/後円部は三段築成で、現在頂上には巨大な乱掘壕が残されており、地中深いところには長大な木棺を納めるための長さ7m近い竪穴式石槨が、板状石を積み重ねて作られている/墳丘には角礫による葺石が確認されており、都月型埴輪と呼ばれる古い時期の埴輪も採集されている/墳形は箸墓古墳の二分の一の相似形で、畿内政権との関係が指摘されている

国指定史跡 浦間茶臼山古墳



墳丘測量図

全長約138m、後円部径約81mの大形前方後円墳。3世紀末頃に造られたと推定されています。

本古墳は、前方部の形状が、初期の前方後円墳に特有の形態（三味線の撥のような形を呈するなど）をもち、吉備地方最古の前方後円墳と想定されています。

後円部は、高さが約13.8mあり、三段で築かれています。現在頂上には、巨大な乱掘壕が残されています。その地中深い位置には、長大な木棺を収めるための、長さ7m近い竪穴式石槨が、板状石を積み重ねて造られています。

近年（1988）の発掘調査により、銅鏡（細線式獣帯鏡）、銅鏃・鉄鏃・鉄刀・鉄剣といった武器類、鎌やスキ先など農具類、鑿や斧など工具類、ヤスなど漁具類などが乱掘を免れて確認され、質量ともに豊富な副葬品の一端が窺われました。

また都月型埴輪（直線と曲線からなる特徴的な文様が刻まれた最古式の円筒埴輪）が採集されています。

この古墳に埋葬された人物は、古墳時代初頭の、備前に君臨した大首長と想定されています。しかも当古墳は、畿内最古の前方後円墳とされる奈良県桜井市の巨大な箸中山古墳（箸墓）の、2分の1の大きさに造られているとの指摘があり、畿内政権との関係を探るうえでも重要な古墳です。

昭和49（1974）年11月25日、国の史跡に指定されました。

平成13年3月

岡山市教育委員会

標高10m 20m 30m



墳丘測量図

前方部の端は、このように公園造成により削られてしまっているようだ



さて、ここは墳丘の北側を括れ部辺りに進んだところ



振り返って、説明板があった方向(東方向)を見たところ



そこで、墳丘方向を見ると凄いブッシュ状態



墳丘を登ると、この辺りが括れ部で一寸した道のようにになっている



そこで、左手に前方部方向を見たところ



同じく、右手に後円部方向(西方向)を見たところ

[video](#)



これは墳丘の南側で、前方部方向(東方向)を見たところ

 video



同じく、後円部方向を見たところ

 video



後円部に向かって進もう/正面のマウンドが後円部

 video



そこで、左手を見たところ



後円部墳丘を左手に回り込んだところ



そこで、振り返って見たところ



さて、ここが後円部墳頂/南側から北方向に見たところ

[video](#)



左手の、この凹みが乱掘壕(埋葬施設位置)

 video



振り返ると、二段目のテラスが見て取れる



参考ホームページ

<https://www.city.okayama.jp/museum/kofun1/01.html>

<https://kofun.info/kofun/1203>

<https://tabi-mag.jp/ok0288/>

<https://www.city.okayama.jp/kurashi/cmsfiles/contents/0000005/5318/000192258.pdf>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B5%A6%E9%96%93%E8%8C%B6%E8%87%BC%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3>

<http://geo.d51498.com/gbpb900/uramatyvasu.html>

<http://skz-ym.sakura.ne.jp/sankaku/ntruramatyvasu.html>

<http://tanimoto.travel.coocan.jp/tab2/kibi18.html>

<https://tabioka.com/urama-chausuyama-ancient-tomb/>

<http://kamadoneco.blog122.fc2.com/blog-entry-670.html>

